

平成 30 年度全国学力・学習状況調査 結果分析・改善方針

御調中央小学校 教務

小学校国語 A問題 主として「知識」に関する問題での課題

通過率の低い問題

言語 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

設問 5 (文中の主語と述語との関係などに注意して文を正しく書く。)

☆日本語は、主語がなくても文の意味が通じる。隠れた主語を意識させていく必要がある。

設問 8 (文の中で漢字を使う 積極的)

小学校国語 B問題 主として「活用」に関する問題での課題

①-三 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べてまとめる ㊦「話すこと・聞くこと」

②-二 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして詳しく書く問題 ㊦「書くこと」

③-二 目的に応じて文章の内容を的確に押さえ自分の考えを明確にして読む ㊦「読むこと・書くこと」

☆適切な内容を取り上げて、相手に伝わるように詳しく書くことが求められている。また、条件のある質問に対して条件に合うように答えられるように、日頃から書くこと・話すことに条件を設けていく必要がある。

※国語科では、自分の考えたことと、友だちや他者が考えたこととの共通点と相違点を明らかにしていく指導が大切であり、その際にはどうしてそう思ったのか、なぜそう言えるのかなど根拠を明らかにさせていく指導が必要である。

小学校算数 A問題 主として「知識」に関する問題での課題

通過率の低い問題

①-(1) 除法で表す2つの数の関係 ㊦「数と計算についての知識理解」

④-(2) 単位量あたりの大きさを求める除法の式と商の意味を求める問題 「量と測定についての知識理解」

⑦-(1) 円周率の意味理解 ㊦「図形についての知識理解」

☆①-(1)の問題は、単純な小数の除法ではあるが、1あたりを求める単位量あたりの考え方をを用いる。単位量に関する問題に多く当たらせ、もとになる数、比べる数を意識させていく必要がある。

小学校算数 B問題 主として「活用」に関する問題での課題

通過率の低い問題

- ③-① メモとグラフを関連づけ、記述する問題 ㊦「数量関係」
- ③-② 棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを適切に判断する問題 ㊦「数量関係」
- ⑤-① 理由を示され数量を根拠に記述する問題 ㊦「数と計算」

☆第3学年における「資料を分類整理し、表やグラフを用いて分かりやすく表したり読み取ったりすることができるようにする」のうち、棒グラフの読み方やかき方について知ること、第5学年での「目的に応じて資料を集めて分類整理し、円グラフや帯グラフを用いて表したり、特徴を調べたりすることができるようにする」「目的に応じて表やグラフを選び、活用する活動」等の既習事項を徹底させる。

☆日常生活の中で、主体的に問題を見いだして情報を収集し、表やグラフなどに整理して考察し表現したり、考察した結果から新たな問題を見だし、表やグラフに整理し直したりする活動を仕組むことが大切である。

※算数科では、「数量関係と数と計算」の「数学的な考え方」に課題が多い。問題場面から読み取った情報をグラフや式、図などに表す活動と、それらの図などが表している内容を説明する活動の両面をバランスよく取り入れて指導していく必要がある。

小学校理科

地球に関する問題

- 2-③活用問題 流す水の量と棒の様子

物質に関する問題

- 4-③活用問題 食塩を水に溶かしたときの全体の重さ
- 4-④活用問題 食塩水の蒸発

☆実験結果を基に分析し、根拠や理由を示しながら自分の考えを説明することが求められている。また、原因と結果とを関連付けて捉える見方を働かせることを意識して授業を改善していく必要がある。